

家族社会学会ニュースレター

Japan Society of Family Sociology Newsletter (web)

No. 60

2018年5月15日発行

編集 筒井淳也（庶務委員・広報担当）

発行 日本家族社会学会事務局

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

東洋大学社会学部 西野理子研究室

☎ 03-3945-7722

会長挨拶

石井クンツ昌子（日本家族社会学会会長／お茶の水女子大学）

今期理事会では「国際化の加速」を課題として、各委員会が精力的な活動を行っています。昨年度は日本とアジアの家族に関する大会シンポジウムや国際セッションが開催され、今年の『家族社会学研究』では英語論文が掲載されます。昨秋オランダで開催された全米家族関係学会（NCFR）では本学会員の報告が多く見受けられ、今夏の国際社会学会（ISA）トロント大会でも本学会員の方々が報告をされる予定であり、会員の皆様の国際化が着実に進んでいるように感じています。

本年度の第28回大会シンポジウムではISAのRC06 (Family Research)会長 Chin-Chun Yi 氏に Taiwan Youth Panel 調査データ分析結果を含む基調講演を行っていただきます。国際セッションやポスターセッションも継続する予定です。若手の研究活動委員が企画する海外調査の方法に関するラウンドテーブルも計画されています。本年度の大会でも国内外の研究者とのネットワーキングの機会が十分ありますので、多くの皆様のご参加を期待しています。また、自由報告やポスターセッションはご自身の研究発信ができると同時に他の会員からコメントをいただく貴重な機会でもありますので、5月末の申込締切までに奮ってご応募ください。多くの皆様に中央大学に於いて9月8・9日に開催される大会でお会いできることを楽しみにしております。

「国際化の加速」以外でも本学会が直面している重要な「課題」があります。昨年度の総会及びニュースレター59号でも触れていますように、2016年度末時点で、本学会の財務状況が悪化していることが判明しました。これまでの会計状況を見直して、現在抜本的な対応策を理事会で検討中です。理事会ではこの難局を乗り越えるために努力をしておりますので、今後とも、皆様のご理解とご協力のほどをどうぞよろしくお願いいたします。

===== 目 次 =====			
会長挨拶	1	研究会メンバー募集告知	7
日本家族社会学会第28回大会のご案内	2	事務局だより	8
理事会報告	3	会員異動	9
各種委員会報告	5	編集後記	9

（※目次のページ番号は、紙媒体での配布版のものとなっております。）

日本家族社会学会第28回大会のご案内

山田昌弘（第28回大会実行委員長／中央大学）

2018年度の第28回日本家族社会学会大会を中央大学で開催いたします。日程は9月8日（土）・9日（日）を予定しております。

国際社会学会 RC06 会長の Chin-Chun Yi 先生の基調講演などアジアの若者と家族をテーマとしたシンポジウムが予定されている他、若手向けラウンドテーブルなど魅力的なプログラムが用意されています。

実行委員は、本学文学部の天田城介会員（教育学研究科）と山田（文学研究科）と二人で担当いたします。この時期には学会が続きますが、みなさま、ぜひご参集のほど、よろしくお願い申し上げます。



1. 会期：2017年9月8日（土）～9日（日）

2. 会場：中央大学多摩キャンパス 〒192-0393 東京都八王子市東中野7-4-2-1

※最寄駅は「中央大学・明星大学駅」（多摩モノレール）出口すぐ右。多摩モノレール線は、JR立川、京王線高幡不動、京王・小田急線多摩センターと接続しています。他に、豊田駅等からバスがあります。詳細は、<http://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/> をご覧ください。交通路の詳細および大学周辺地図は、大会ウェブサイトおよび大会ニュース No.2 でお知らせします。

3. 参加費等：大会参加費、懇親会費は以下の通りです。事前納付は郵便振替でもクレジットカードでも金額は変わりません。

※今大会より、会員への大会ニュース No.2 と郵便振替票の郵送が廃止となります。ご注意ください。

参加費	事前（会員のみ）	当日
一般	3,500円	4,500円
学生	2,500円	3,000円

懇親会費	事前（会員のみ）	当 日
一般	3,500 円	4,500 円
学生	2,500 円	3,000 円

4. 昼食：大会の受付で、キャンパス内および周辺の食事処の地図を配布いたします。なお、最寄駅にコンビニがありますが、学食は 9 月 9 日（日）は閉店しております。昼食は、お弁当の予約、もしくはお持ち込みでご用意下さい。後日、詳細につきましては大会ウェブサイトに掲載し、お弁当の予約受付を開始します。
5. 宿泊：宿泊につきましては、各自でご手配ください。立川、多摩センターが比較的便利な立地になります。
6. 託児サービス：大会中、「特定非営利活動法人保育サービスつくしんぼ」による出張託児サービスを学内に準備いたします。利用料は 1 人 1 日 2,000 円、半日 1,000 円の予定です。詳細は 7 月中を目処に大会ウェブサイトに掲載し、申し込み受付を開始します。

理事会報告

2017年度第3回理事会（第9期第5回会合）議事録（抄）

（略）

各種委員会報告

編集委員会

編集委員会からは、『家族社会学研究』30 巻 1 号の刊行のご報告に加え、今号からの新しい変更点についてお伝えします。

1. 紙質の変更と巻末資料の削減

30 巻 1 号より、機関誌の紙質を変更し、これまで巻末に掲載していた投稿規程と執筆要項をホームページに一本化することにしました。

2. 投稿および査読のペーパーレス化

30 巻 2 号より、これまで郵送により行っていた査読の依頼手続きをメールにより行うことと致しました。31 巻からは、論文の投稿も、これまでの郵送ではなくメール送付に変更します。投稿規程・執筆要項の変更をホームページにアップしますので、投稿を予定されている会員の皆様にはご確認をよろしくお願い申し上げます。一連の変更の直接のきっかけは学会の財政状況を改善することですが、この機会に、会員の皆さまにとって、より投稿や査読のしやすい方法を考えてまいります。どうぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

3. 30 巻 1 号刊行のご報告

このニュースレターと一緒に 30 巻 1 号をお届けします。今号は、研究ノートを含め 7 本の投稿論文を掲載することができました。学会誌の中心は何をおいても投稿論文です。編集委員会としてこんなに嬉しいことはありません。どんなに財政状況が厳しかろうと、これからも 1 本 1 本の投稿

論文を大切に、編集作業を進めていくことに変わりはありません。会員の皆さまからのご投稿を、編集委員一同心からお待ち申し上げます。

(米村千代・千葉大学)

研究活動委員会

1. 第28回日本家族社会学会大会(2018年9月8日(土)・9日(日))について

研究活動委員会は、中央大学多摩キャンパスで開催される大会に向けて準備を進めています。3月1日には、第28回大会オフィシャルサイトを開設しました(下記URL参照)。また、4月初旬には会員の皆様に第28回日本家族社会学会大会ニュース No.1をお届けしました。

大会ウェブサイト：<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2017/index.html>

今大会では、「国際化の加速」という課題にもとづき2つの試みを行います。

第一に、大会シンポジウムは「アジアにおける若者をめぐる社会と家族の変容」(仮)をテーマとして、世界社会学会 RC06 会長でおられる Chin-Chun Yi 先生の基調講演(台湾 Academia Sinica リサーチフェロー。英語使用)を企画しています。討論者は太郎丸博先生(京都大学)です。どうぞ楽しみにお待ちしております。

第二に、本委員会の若手委員が主となり、「海外調査を考えている若手研究者のためのワークショップ」(ラウンドテーブル)をもちます。これから取り組みたい方、またご経験のある方など、皆様の参加をお待ちしております。

報告者公募型テーマセッションの企画は、3月に締切りましたが、応募がありませんでした。企画全体公募型テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評ラウンジなどの企画申請は、4月27日正午に締切りました。採択結果は個々にご連絡しています。

ポスターセッションは、大変好評であったため、今大会でも継続します。自由報告(口頭)・ポスターセッション等の報告申込みは、報告要旨原稿とともに5月31日締切です。上記の「大会オフィシャルサイト」にてお申し込みください。その際にはマイページと同じID(会員番号)とパスワードが必要です。皆様からのお申込みをお待ちしています。

大会参加費は例年と同じく、一般(事前)3,500円、学生(事前)2,500円、一般(当日)4,500円、学生(当日)3,000円です。参加申込みは、7月上旬から上記ウェブサイトで可能となります。ただし諸般の事情により、今大会から郵便振替用紙を郵送いたしません。参加申し込みの際にはご注意ください。従来、これと同封していましたが大会プログラムは、7月上旬に大会ウェブサイトでの公開のみとなります。

2. 大会要旨集について

昨年度の大会と同じく、印刷物と電子媒体(大会オフィシャルサイトにて大会10日前に公開予定)を併用します。

3. 報告申し込みの資格要件について

大会で報告していただく方は、本学会が定めた資格要件を満たす必要があります。メルマガでも周知していますが、大会ウェブサイトでご確認のうえ、年会費の支払い、また新入会員の方は入会申し込みなど、要件を満たしていただくようお願いいたします。

(田間泰子・大阪府立大学)

学会賞委員会

今年是新設された第1回日本家族社会学会賞（奨励著書賞）選考の年です。本年1月1日から21日までの募集期間に自薦・他薦で応募があった著書を対象に、現在、選考委員会で審査を行っています。結果は、9月の中央大学での学会大会の総会で発表いたします。

（池岡義孝・早稲田大学）

庶務委員会・事務局

1. 会勢について

2018年4月16日現在の会員数は705（一般会員569、学生会員94、会費減免会員42、賛助会員0、会費免除会員0）です。

2. メールマガジンについて

会員間の情報交換にメールマガジンが活発に利用されています。一カ月に数件の利用があります。現時点の到達率は94%です。ご希望がありながら届いていない場合は、学会ウェブサイトの会員専用ページから、メルマガ配信設定やメールアドレスをご確認ください。

3. 会費納入状況について

新年度の会費納入の依頼がお手元に届いていることと存じます。すみやかな会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。なお、会費納入は可能な限り、郵便振込みないしは銀行振込みをご利用いただけますと幸いです（クレジットカードの場合、利用料が事務経費の負担になります）。また、カード決済が可能な期間は4-6月ですので、利用申し込みを含め、早めにご対応をお願いします。

4. 会費の減額申請について

常勤職にない会員の方は会費減額申請を行うことができますが、65歳未満の会員については、毎年申請し承認を受ける必要があります。承認の連絡を受けてから会費をお振り込みください。5月末が申請期限となっておりますので、お急ぎください。申請手続きの詳細は、学会ウェブサイトの「お知らせ/人事公募」>「会費減額申請」（http://www.wdc-jp.com/jsfs/notice/not_4.html）に掲載されています。65歳以上の会員の方は、一度承認されれば以後手続きの必要はありません。

（西野理子・東洋大学）

全国家族調査(NFRJ)委員会

1. NFRJ18に向けた研究会活動

過去のニュースレターでもお知らせして参りましたが、NFRJ18は2018年度末に実施を予定しており、昨年度立ち上げられた「NFRJ18研究会」を基盤に準備を進めています。今回は、従来のように学会内利用の期間を設けず、NFRJ18研究会での利用となりますので、NFRJ18データを（一般公開よりも先行して）利用希望の既会員の方は、今回が最終入会の機会となります。新規会員の方もふるってご参加ください。

ご希望の会員は、下記の募集告知をご覧のうえお申し込みください。調査実施とデータ整備までは「実行委員会」を兼ねた活動となります。学会員はどなたでも研究会に入ることができます。

なお、この研究会と並行して、質的な家族調査を行う「全国家族調査質的調査研究会」が活動し

ていますが、こちらは新規募集は行いません。

2. NFRJ データを用いた研究会活動

NFRJ-08 パネル研究会、家族社会学パネル研究会、NFRJ18 研究会を開催してきました。今後も研究会活動を行ってまいりますので、ご関心のある方は NFRJ ウェブサイトをご覧の上、ご参加ください (<http://nfrj.org/>)。

3. データ公開および研究成果の社会的還元

NFRJ のこれまでのデータ (NFRJ98、NFRJ-S01、NFRJ03、NFRJ08 等) は、東京大学 SSJ データアーカイブや ICPSR を通して公開されています。ぜひ研究にご活用ください。また、SSJ の利用資格がない場合も、学会員であればデータ利用は可能ですので、NFRJ 委員会事務局までお問い合わせください。NFRJ の最新情報は、ウェブサイトでご覧ください (<http://nfrj.org/>)。

各種研究会への参加、NFRJ18 研究会への参加、データ利用などについて、ご不明な点、ご意見などは、当面の間、office☆nfrj.org (☆を@に変換) までお送りください。

(田淵六郎・上智大学)

募集告知

◆NFRJ18 (第4回全国家族調査) 研究会のメンバーを募集します◆

日本家族社会学会全国家族調査 (NFRJ) 委員会では、2017 年 4 月より、NFRJ18 研究会を開始いたしました。家族社会学会の会員であれば、どなたでも参加することができます (大学院生を含みます)。既会員の方については、最後の入会機会になります (新規会員については、随時受付いたします)。

以下の要領で申し込みを受け付けますので、関心のある方はぜひご応募ください。家族の経験的な研究、計量的な研究に関心のある会員の参加をお待ちしています。

NFRJ18 研究会の活動内容

【調査実施段階】

科学研究費の助成を受けたプロジェクトとして行われる NFRJ18 実査 (2019 年 1 月実施予定) の調査設計、調査票作成、データ整備などにかかる研究活動に参加します。分担して業務を行っていただくことがありますのでご了解ください。

【調査実施後】

1. メンバーの一部は、NFRJ18 第1次報告書 (調査概要と簡単な集計のみを掲載するもの) の作成に協力します。
2. すべてのメンバーは、自分の関心に基づいて NFRJ18 データを用いた分析を行います。その経過を研究会 (年間 3 回程度を予定) で報告すること、最終的にデータを用いた論文を提出していただくことが義務となります (2021 年 1 月末ころを予定)。
3. 提出された論文は、NFRJ18 第2次報告書として日本家族社会学会全国家族調査委員会より刊行される予定です (2021 年 3 月末ころを予定)。
4. 発表された成果はかならず研究会に提出していただきます。
5. 提出される論文は、NFRJ18 を用いた既発表の投稿論文などの再録でも認められます。
6. 研究会で報告をされる場合には、遠方の会員には予算の範囲内で旅費を補助いたします。なお、これら研究会の費用は科学研究費などからの助成をうけて行われます。

参加申し込み

NFRJ の HP に掲載予定の申込書フォームにご記入のうえ、2018 年 5 月末日までにメール (office@nfrj.org) にてお申し込みください。研究会についてのお問い合わせにも応じますので、お気軽にお知らせください。

NFRJ 委員会委員長・NFRJ18 研究会代表 田淵六郎 (上智大学)

NFRJ 委員・NFRJ18 研究会事務局 田中慶子 (慶應義塾大学)

(田淵六郎・上智大学)

事務局だより

学会設立三十周年を次期に見据え、つつがなく運営を担っていくつもりでいたところ、財政状況が思いのほか悪化していることに気づき、対策に追われています。まずは、できる限り紙媒体での情報郵送を廃止し、会員システムを導入して、ニュースレターやアンケート、名簿などの電子化を進めることとなります。従来の方式を変更するので、会員の皆様には不便や不満を感じられることも当然あるとは存じますが、事情をご理解いただけますよう、お願いいたします。

学会運営の経済面にかかりきりになりそうですが、そうではなく、今期理事会のテーマである「国際化の加速」や、より魅力的な学会になる方向への努力に惜しまず取り組んでいきたいと考えています。ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(西野理子・事務局長、東洋大学)

会員異動

(略)

ニュースレター59号訂正のお詫び

ニュースレター59号16頁、「2017年度総会議事録(抄) 4-2 協議事項(1)2016年度決算報告および監査報告」において川崎澄雄先生のお名前が、川崎澄夫となっていました。お詫びして訂正いたします。

編集後記

特に連絡はございません。京都は4月なのに気温が30度近くになるなど、移ろいやすい天気です。会員のみならず、夏場にかけてお元気に過ごされますよう。

(筒井淳也・立命館大学)